教育センターだより
第 93 号
H.3.5.1
金沢市教育センター
発行者　菅 波 稔 之
金沢市武蔵町14番31号

「はい 教育センターです」

所長　**菅　波　稔　之**

登校拒否児の適応指導教室に、昨年度通っていた子どもたちが、新しい学級に溶けこんで登校するための話し合いが相談部でおこなわれていました。学級編成発表の日のことです。

「もしもし……。」

「はい、教育センターです。ああ、A君。どうしたの？」

新しい担任の先生が誰で、どんな友達が一緒か知りたくてたまらないのでしょう。でも知りたい気持ちと不安とが往来して相談担当者にかけてきた電話です。応答から、A君の心が右に左に揺れ動くのがよく分かります。ようやく自分で決断した様子です。励まして、受話器は下ろされました。

後刻、学校から電話が入ってきました。前年度の担任からの通話の後、A君も受話器の向こうから話しています。勇気を出して登校したA君を担当者はほめています。

＊　＊　＊　＊　＊

ニューヨークやバグダッドでのできごとも、リアルタイムに映し出されるこの時代に、視聴覚教材活用の効果は、今さら言うには及びません。“百聞は一見にしかず”です。

「新１年生の交通安全指導に使うのに、適当なビデオ教材がないかとの問い合わせですが。」

視聴覚部担当が、教材一覧を検索しています。

ピッカピカの１年生を送り出す家族の笑顔が目に浮かびます。子どもたちを交通禍から守ろうとする先生方の思いが伝わってきます。

中学校には、昨年度の３校に続いて今年も10校ほどにパソコンが設置され、情報教育の取り組みが、技術・家庭、数学、理科を中心に行われます。当センターも、視聴覚担当が１名増え、携帯パソコン貸し出しと共に、講師派遣要請にも対応できる体制になりました。

＊　＊　＊　＊　＊

昨年しつけ講座を受講された方から、今年の講座の申し込みはまだかと、うれしい問い合わせが入ってきました。多くの優秀な講師の方々をお招きしての各種研修会を計画しています。

小・中学校はもちろんのこと、地域の公民館、保育所、幼稚園の方々にも利用していただくとともに、教職員研修のセンターとしての役割りを十分に果たしたいと所員一同願っています。

センターの組織　（事務分担）

所長	（総　括）	菅波　稔之（高尾台中より）
所長補佐	（管理、渉外）	美野　泰久
庶務	（予算、執行）	小林　進
教育相談	（相談、研修、調査研究）	高橋　次郎、中山秀悟、本間　友巳（長坂台小より）、押野真喜子、山本　仁、中島以久子
視聴覚	（研修、教材制作、調査）	金崎　誠一、藤江　喜明、上出　雅（三和小より）
	（搬　送）	塩田　大八（道路工事事務所より）
	（受付、貸出）	竹田菜穂子

適応指導教室
「そだち」

2年目を迎えるにあたって

登校拒否児童生徒のための適応指導教室「そだち」を開設して１年がたとうとしています。行き場を失った子どもたちに“居場所”を与えることを目標にして、文字どおり試行錯誤を繰り返してきました。

さて、この１年間で32名（正式入室９名、準入室23名）の子どもたちが適応指導教室と関わりをもちました。（別表参照）　具体的には、月曜から金曜までの主として午前中、毎日14､5名前後の子どもたちが通所してきました。

それでは準入室・正式入室の意味の説明を兼ねながら、「入室の流れ」を述べてみましょう。

まず、すべての相談を受理し個別のカウンセリングを繰り返すうち、おおよそ下記の「仮入室のめやす」を満たす登校拒否の子どもたちを適応指導教室仮入室の対象とします。このような子どもたちを“準入室者”と呼ぶことにします。

おおよその**仮入室のめやす**

- 家庭以外の居場所を失っている
- 心理的に不安定ながらも、適応指導教室に通う意欲を持っている
- 反社会的傾向が強くない

この準入室の段階で、個別や小集団による活動（カウンセリング、学習、プレー、課外活動等）を、あくまで子どもたちの意志や希望を尊重しながら、じっくりとおこないます。自由で安全な居場所を与えられ、不安や緊張から解放された子どもたちの心に、本来の明るさやのびやかさが蘇ってきます。

次に、準入室の段階で元気を回復し、下記の「正式入室のめやす」をおおよそ満たす子どもたちが、適応指導教室の“正式入室者”となります。

おおよその**正式入室のめやす**

- 集団での人間関係の体験が必要な段階にある
- 学習への関心、意欲があり、基礎学力への取り組みが必要な段階にある
- 規則的な生活習慣への意欲がでてきている段階にある
- 定期的に適応指導教室に通える見通しがある

この段階の子どもたちはほぼ毎日適応指導教室に通い、諸活動に積極的に取り組むようになります。自立や学校復帰に向けて、大きく、しかも確実な歩みをはじめた子どもたちといえましょう。なお、正式入室の子どもたちに関しては、多くの方のご尽力により、適応指導教室への通所を、学校の出席として扱っていただくことになりました。

さて、2年目を迎える適応指導教室の課題として、増加と多様化の進む登校拒否の子どもたちに、限られたスタッフでどのように対応していくか、さらに、預けっぱなしの“委託”になりがちな学校との連携をいかに密なものにしていくか等、新たな課題が山積しています。

ますますのご指導とご援助を仰ぐ次第です。

（別表）　適応指導教室学年男女別人数

	小学生			中学生			計
	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
男	1	1	1	3	5	4	15
女		1	1	3	3	9	17
小計	1	2	2	6	8	13	
計	5			27			32

平成３年度ＮＨＫテレビ学校放送番組の録画案内

学校における放送利用をバックアップします

放送のもっている役割や特性がいくつかある中で、最も重要なのは、情報性です。このことは、ここ数年の間に起こった世界を揺るがした出来事が、印象的に物語っています。事件の状況や人々の様子などの生々しい情報が、放送メディアを通して刻々と報道され、それが出来事の進展に大きな影響をも与えました。

ＮＨＫの学校放送は、それぞれの教科にふさわしい、いきいきとした新しい情報を伝える教材として、学習活動の中で大いに活用できる内容です。当センターでは、学校における放送利用をバックアップするため、下記の番組を録画し一年間保存します。録画ミスをしたり、録画するのを忘れたりしたときには、生テープを持参し来所の上、複製利用して下さい。

学年	教科	番組名	録画曜日
小学校１年	社会	それいけノンタック	木
	理科	なんなんなあに	月
	道徳	のびのびノンちゃん	金
小学校低学年	生活	とびだせたんけんたい	木
小学校２年	社会	はたらくひとたち	金
	理科	はてなはてな	水
	道徳	あつまれじゃんけんぽん	木
小学校３年	社会	たんけんぼくのまち	木
	理科	はてなでスタート	水
小学校中学年	道徳	さわやか３組	水
	総合	にんげん家族	水
小学校４年	社会	くらし発見	火
	理科	はてなをさがそう	月

学年	教科	番組名	録画曜日
小学校５年	社会	リポートにっぽん	火
	理科	はてなにタックル	水
	道徳	あしたへジャンプ	月
小学校高学年	総合	みんな地球人	木
小学校６年	社会	歴史みつけた	火
	理科	はてな・サイエンス	月
	道徳	はばたけ６年	火
中学校	社会	世界・日本地理	木
	社会	日本史	水
	社会	ワールドナウ（公民）	月
	理科	第１分野（物理・化学）	月
	理科	第２分野（生物・地学）	火
	道徳	心のメッセージ	木

平成２年度制作 社会科ビデオ教材 『わたしたちの金沢』のご紹介

金沢市教育センターでは、小学校の社会科の地域教材として、楽しく学べるビデオの制作を小学校の先生に委託してまいりましたが、このほど平成２年度制作のビデオが完成しましたので、各小学校へ配布しました。ぜひ授業で活用して下さい。

題名	時間	対象学年	内容
金沢の町づくり ～水と緑を生かして～	12分	3・4年	町づくりの計画、アメニティタウンづくり等、伝統と自然の調和を考えた町づくりを紹介する。
金沢漆器	15分	3・5年	藩政時代以来続いている漆器づくりに励む人々の姿と加飾の工程を中心に紹介する。
金沢の金箔	16分	3・5年	金沢の町と金箔のかかわり、生産工程、技術の変化、金箔の利用を紹介する。
大昔の金沢	13分	6年	太古、古代の金沢の様子を探る。遺跡の発掘、集蔵館、博物館の収集物から大昔の様子を探る。

教材制作を支援します

―電話で予約して下さい―

カラーコピー
写真・スライドから普通紙・ＴＰへ
１人１回につき20枚まで

方式変換ビデオ
世界各国のビデオを日本のビデオに変換ダビング、逆も可

ダビングシステム
８㎜、ＶＨＳ、β、オープン、どのビデオもダビング可

電子編集機
画面の乱れなしにビデオの編集が可

スライド制作
接写台を利用してスライド・写真を！

高速ダビング
16倍速で音声テープの高速ダビング

パソコン教材
ＰＣ-9801ＲＸ、カラースキャナ

ビデオフロッピー
写真・ビデオをフロッピーに

スライドTVコンバータ
スライドをビデオに変換

音声編集
ＢＧＭを入れたナレーション作成